

公開実用平成 4-54240

⑩ 日本国特許庁(JP)

⑪ 実用新案出願公開

⑫ 公開実用新案公報(U) 平4-54240

⑬ Int.Cl.³

識別記号

庁内整理番号

⑭ 公開 平成4年(1992)5月8日

A 46 B 15/00
A 45 D 1/04
A 46 B 15/00

F 8206-3B
C 8929-3B
G 8206-3B

審査請求 未請求 請求項の数 3 (全 頁)

⑮ 考案の名称 発熱式ヘアブラシ

⑯ 実 願 平3-1327

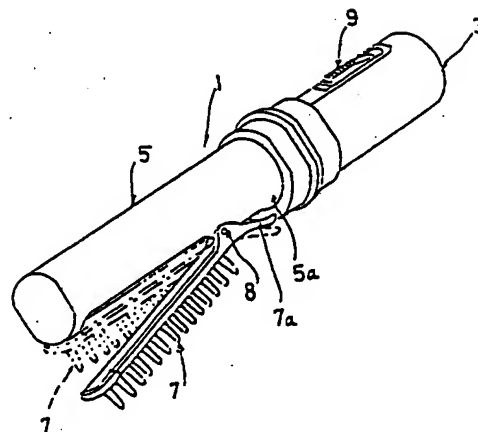
⑰ 出 願 昭63(1988)9月3日
前意匠出願日援用

⑱ 考 案 者	北 村 健 一	東京都板橋区前野町2-4-17
⑲ 出 願 人	野 中 道 夫	埼玉県川越市清水町7-2
⑲ 出 願 人	岡 本 健	東京都調布市染地3-1ホ7-307
⑲ 出 願 人	北 村 健 一	東京都板橋区前野町2-4-17
⑳ 代 理 人	弁理士 宇高 克己	

㉑ 【要約】

【目的】本考案はヘアブラシに関し、特に熱を利用して整髪効果を高め、必要に応じてカールを付け、あるいはカールの付いたヘアを真っ直ぐな自然の状態に戻すことが出来る発熱式ヘアブラシを得ることを目的とする。

【構成】そのために内部に電源を収納した把持部分と、該把持部分の前方に突設され、かつ内部に前記電源より所定の電流の供給を受けて発熱する発熱体を内蔵した棒状部と、該棒状部に沿って配設された発熱体を内蔵したブラシ部とで構成する。



【書類名】 明 細 書

【考案の名称】 発熱式ヘアブラシ

【実用新案登録請求の範囲】

【請求項1】 内部に電源を収納した把持部分と、該把持部分の前方に突設され、かつ内部に前記電源より所定の電流の供給を受けて発熱する発熱体を内蔵した棒状部と、該棒状部に沿って配設された発熱体を内蔵したブラシ部とで構成したことを特徴とする発熱式ヘアブラシ。

【請求項2】 内部に電源を収納した把持部分と、該把持部分の前方に突設された棒状部と、該棒状部に沿って開閉可能に配設され、かつ内部に前記電源より所定の電流の供給を受けて発熱する発熱体を内蔵したブラシ部とで構成したことを特徴とする発熱式ヘアブラシ。

【請求項3】 内部に電源を収納した把持部分と、該把持部分の前方に突設され、かつ内部に前記電源より所定の電流の供給を受けて発熱する発熱体を内蔵した棒状部と、該棒状部に沿って配設され、かつ棒状部の基端寄りに設けた枢着部を支点とし、基端部寄りに位置するグリップを挾持することにより、片側にブラシ部を形成したブラシ体が開閉するように構成したことを特徴とする発熱式ヘアブラシ。

【考案の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】

本考案はヘアブラシに関し、特に熱を利用して整髪効果を高め、必要に応じてカールを付け、あるいはカールの付いたヘアを真っ直ぐな自然の状態に戻すことが出来るように構成した発熱式ヘアブラシに関するものである。

【0002】

【従来技術】

現代の人々は、老若男女を問わず身嗜みに気をつけている。その身嗜みの一つにヘアを美しくすることを掲げることが出来る。ヘアを美しくすることは、第一には、ヘアを常に清潔に洗髪しておくことであり、第二には男性であれば整髪がされ、かつ良くブラッシングがされていること、また女性の場合はパーマメント

をかけている場合はカール等の乱れを無くし、しかも良くブラッシングがされていることがヘアに対する身嗜みの条件であると言える。

【0003】

ところで、上記の如く、ヘアの身嗜みを行う上では欠かすことの出来ない小道具の一つにヘアブラシを掲げることができるが、従来のヘアブラシ等は、家庭等で、誰でもが手軽に使用することの出来る櫛とか、ヘアブラシがブラッシングの主流であり、また今日では洗髪後にヘアを乾燥させるためのヘアドライアに櫛あるいはヘアブラシを一体化した商品も開発はされているが、かかる従来の小道具には以下のような問題がある。

【0004】

【考案が解決しようとする課題】

即ち、櫛とかヘアブラシは、比較的携帯性には富むが、ブラッシング効果が非常に悪い。また、現在市販されている加熱タイプのヘアブラシ等は、各家庭で使用する場合は、商用電源を利用することが可能であるから、問題なくそれなりの効果が得られるが、しかし、最近では家庭以外に、特に旅行先などで使われるケースが増えており、このように持ち運ぶ場合にはコードが邪魔になり、嵩張るため携帯性に問題がある。また、コンセントから電源を用いているため、旅行に携帯した場合にコンセントをいちいち捜さなければならず、特に外国への旅先では電圧が異なるために使用することが出来なかったり、知らずに使用すると故障や危険の生じる恐れもある。

【0005】

【課題を解決するための手段】

本考案は、上記の問題点を解決するためになされたもので、その目的とするところは、小型のヘアブラシの把持部に電源用の電池を内蔵し、該電池よりヘアブラシ内に内蔵した発熱体に電流を供給することによりヘアブラシ自体に発熱機能を持たせ、整髪能力を高めると共に、必要に応じてカールを付けたり、逆にカールを真っ直ぐな自然なヘアに戻したりすることのできる発熱式ヘアブラシを提供することにあり、そのために内部に電源を収納した把持部分と、該把持部分の前方に突設され、かつ内部に前記電源より所定の電流の供給を受けて発熱する発熱

体を内蔵した棒状部と、該棒状部に沿って配設された発熱体を内蔵したブラシ部とで構成する。

【0006】

【作用】

上記のような構成を採用したので、把持部分に内蔵した電源よりブラッシ部に内蔵した発熱体に所定の電流を供給することにより、ブラッシ部を発熱させることができ、この発熱したブラッシ部にヘアを引っ掛けて所定のブラッシングを行うものであるから、ヘアのブラッシングが非常に効率良く行え、またブラッシ部と棒状部間でヘアを挟んで扱くことによりヘアを真っ直ぐにブラッシングすることも可能となる。

【0007】

【実施例】

以下、図1、図2、図3及び図4に基づいて本考案に係る発熱式ヘアブラシの一実施例を詳細に説明する。

尚、図1は本考案に係る発熱式ヘアブラシの全体構成を示す側面図、図2は使用の一例を示す斜視図、図3は平面図であり、図4は底面図である。

【0008】

同図中、1は発熱式ヘアブラシであり、該発熱式ヘアブラシ1は、内部に電源2（本実施例では、乾電池を使用している）を収納した把持部分3と、該把持部分3の前方に突設され、かつ内部に前記電源より所定の電流の供給を受けて発熱する発熱体4を内蔵した棒状部5と、該棒状部5に沿って配設された発熱体6を内蔵したブラシ部7とで構成され、特に、前記ブラシ部7は棒状部5の基端部5a寄りに設けた枢着部8を支点とし、基端部5a寄りに位置するグリップ7aを挟持することにより、ブラシ部7が棒状部5より離れて開閉できるように構成されている。

【0009】

尚、前記把持部分3の上部には発熱体4および発熱体6に対する電流のON-OFFを行うスイッチ9が設けられている。また、上記の実施例では発熱体6の発熱状態をコントロールする手段に付いて特に説明しなかったが、サーマルコン

トローラが内蔵されていることは勿論である。また、上記の実施例では棒状部 5 とブラシ部 7 の内部に発熱体 4 および発熱体 6 を内蔵した例で説明したが何れか片方にのみ発熱体を内蔵したものでも良い。

【0010】

以下、上記の構成に基づいて本考案に係る発熱式ヘアブラシの作用と、その使用要領を説明する。

即ち、発熱式ヘアブラシ 1 の使用は、把持部分 3 の上部に設けたスイッチ 9 を ON にして電源 2 を発熱体 4 および発熱体 6 に接続する。これにより発熱体 4 および発熱体 6 が所定の温度に達すると、使用者は把持部分 3 を握って棒状部 5 の片側に配置したブラシ部 7 にヘアを引っ掛けて普通にとかせば良い。発熱したブラシ部 7 でとかされるヘアには程よく所定の温度が加わる為、通常のブラッシングに比較して不自然に成ったヘアは、効果的に整髪されることになる。特に、ヘアに一定のカール等を施す場合はカールしたい部分のヘアを発熱したブラシ部 7 に巻きつけ、所定の時間経た後、その巻きつけたヘアをブラシ部 7 よりほぐすことにより美しいカールを付けることも可能である。また、パーマメント等によりカールしたヘアを真っ直ぐな自然なヘアに戻す場合は、第 2 図に示した如く、ブラシ部 7 の基端部 5 a 寄りのグリップ 7 a を挟持し、棒状部 5 より離れたブラシ部 7 の背面間にヘアを挟んでブラッシングの要領でヘアを扱くだけでカールしたヘアを真っ直ぐに整髪することも可能である。

【0011】

【考案の効果】

本考案は、以上詳細に説明した如く、熱を利用して整髪効果が高められると共に、必要に応じてカールを付けられ、またカールを真っ直ぐに戻すことも可能であって、しかも携帯性に富む等種々の優れた効果を有する。

【図面の簡単な説明】

【図 1】

第 1 図は本考案に係る発熱式ヘアブラシの側面図

【図 2】

同上発熱式ヘアブラシの使用状態を示す斜視図

【図 3】

同上発熱式ヘアブラシの平面図

【図 4】

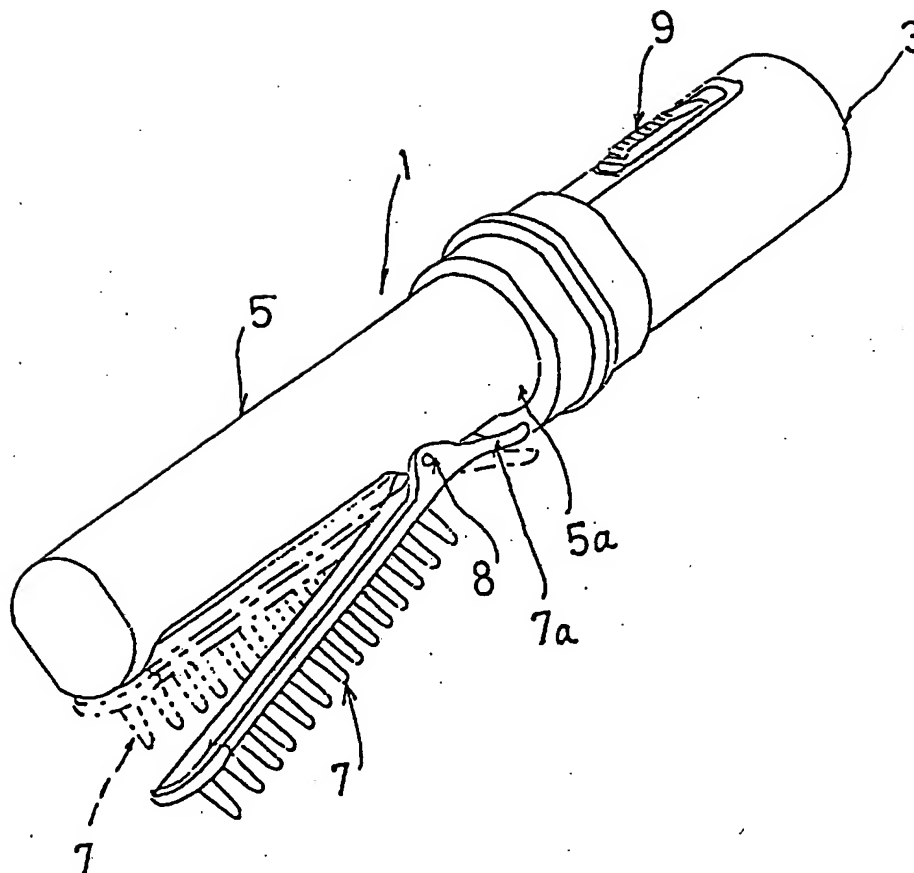
同上発熱式ヘアブラシの底面図

【符号の説明】

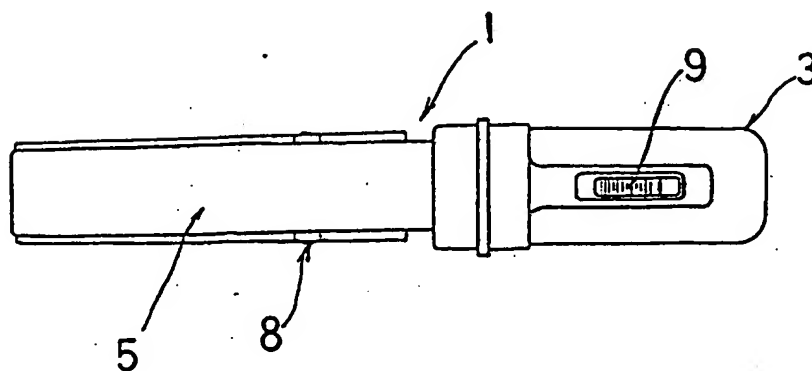
- 1 発熱式ヘアブラシ
- 2 電源
- 3 把持部分
- 4 発熱体
- 5 棒状部
- 5 a 基端部
- 6 発熱体
- 7 ブラシ部
- 7 a グリップ
- 8 枢着部
- 9 スイッチ

実用新案登録出願人	野	中	道	夫
			〔ほか 2 名〕	
代 理 人 弁 理 士	宇	高	克	己

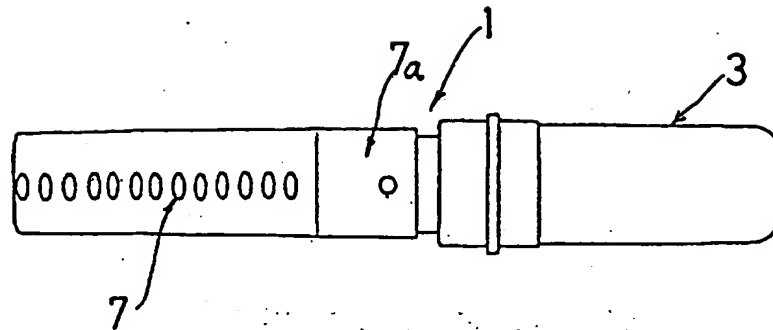
【図2】



【図3】



【図4】



**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning
Operations and is not part of the Official Record**

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- ☐ **BLACK BORDERS**
- ☐ **IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES**
- ☐ **FADED TEXT OR DRAWING**
- ☐ **BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING**
- ☐ **SKEWED/SLANTED IMAGES**
- ☐ **COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS**
- ☐ **GRAY SCALE DOCUMENTS**
- ☐ **LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT**
- ☐ **REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY**
- ☐ **OTHER:** _____

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.